



この通信は、ボランティアセンターの取組や活動の報告、募集などボランティアに関する情報をお届けします！

コロナ禍で取り組むボランティア活動！



ウエス作りは忙しい高校生活の合間をぬって、2回に渡って行われました。黙々と作業をする柴田さん、今さん、山本さん。

完成したウエスを宏生苑へ届けたときには、施設職員の方から、どのような高齢者が入居されているのか、また、ウエスはどのようにして使われるのかという説明がありました。

活動を終えた柴田さんからは、「ウエス作りや、宏生苑様への訪問は、普段する機会がないので、とても貴重な体験だったと思います。落ち着いたら、またボランティア活動をしたいです。」との感想がありました。

旭川北高等学校3年生の柴田さん、今さん、山本さんの3人から以前からボランティア活動に興味があり、受験勉強が本格化する前に一度、ボランティア活動をしたいという相談がボランティアセンターにありました。

コロナ禍のため、高齢者施設等で利用者と直接交流することは難しいため、皆さんからいただいた布を切ってウエスを作り、社会福祉法人東旭川宏生会特別養護人ホーム宏生苑へ届けることとしました。



ウエス作りをした会場の旭川市ときわ市民ホールまで、宏生苑の方が送迎をしてくださいました。



ボランティア 募集中

ゴミ出しのお手伝いをしていただくボランティアさんを募集しています。

活動をご希望される方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。

80代独居女性への支援

- 春光台4条3丁目在住
- 活動可能な曜日でお願いします。

70代ご夫婦への支援

- 春光3条8丁目在住
- 月曜日と火曜日に支援を希望
- ※10月下旬頃からの活動を予定しています。



令和3年度「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施します！



「災害ボランティアセンター」をご存じですか？

参加者募集中 今年で、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震から3年が経ちました。被災当時は、被害が甚大であった厚真町、安平町、むかわ町に、災害ボランティアセンターが設置されました。災害ボランティアセンターとは、大規模災害が発生した際、被災者の困りごと（ニーズ）の相談に対応し、災害ボランティアが円滑に活動できるように調整を行う拠点です。

本訓練では、旭川市で大規模水害が発生したことを想定した災害ボランティアセンターを模擬的に設置します。センターの役割や運営について皆さんに知っていただくことで、万が一の災害時に、一刻も早い被災からの復興・復旧につながればと思います。



令和3年度「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」

主催：北海道災害ボランティアセンター 共催：旭川市社会福祉協議会ボランティアセンター

〔日 時〕 令和3年10月23日（土）午後1時～午後4時15分終了予定※受付：12時30分～

〔会 場〕 旭川勤労者体育センター（旭川市6条通4丁目 ときわ市民ホール隣接）

〔参加対象〕 災害ボランティア登録者、災害ボランティア活動に関心のある方など ※定員20名

〔参加費〕 無料

〔内 容〕 ①災害ボランティアセンターについての説明

②災害ボランティアセンター設置・運営訓練

〔申込方法〕 10月15日（金）までに旭川市社会福祉協議会ボランティアセンターへ電話かFAXまたは、電子メールにてお名前と連絡先（携帯電話番号）をお知らせください。

※参加者には、マウスシールドを1枚差し上げます。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止または延期となる可能性がありますので、ご了承ください。

※参加時には、マスクの着用と、当日の検温をお願いします。体調不良の方や発熱・咳のある方は参加をお控えください。



マウスシールド



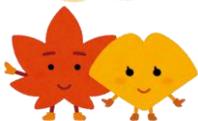
おしらせ

■ 旭川市ボランティアセンターの名称が変更となりました！

(旧) 旭川市ボランティアセンター ➡ **旭川市社会福祉協議会ボランティアセンター**

■ ボランティアセンターのメールアドレスも変更となります。

(旧) volunteer@north.hokkai.net ➡ volunteer@asahikawa-shakyo.or.jp



旭川市社会福祉協議会ボランティアセンター・問合せ先

住 所	〒070-0035 旭川市5条通4丁目 旭川市ときわ市民ホール1階		
電 話	21-5550	メール	volunteer@asahikawa-shakyo.or.jp
FAX	23-0746	Facebook	「まちづくり ボランティア 旭川」で検索ください
ホームページ	http://www.asahikawa-shakyo.or.jp/volunteer/		